

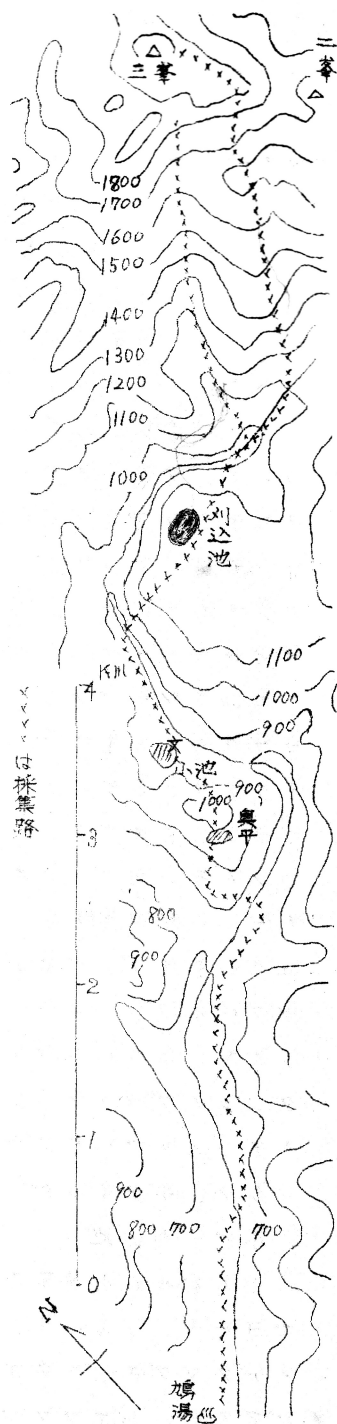
大野郡三峯 植物採集記

加越美国境にそびえる三峯は(2203m)本県最高の高山であり、高山草本帯の南限として植物分布上注目すべき所である。博物館の植物資料蒐集班は昭和26年7月7日から11日迄、同年7月22日から24日迄、昭和27年8月7日から11日迄、及び昭和28年8月11日から13日迄の計四回採集を試みにのぞき、その概況を報告する。

福井から三峯へ採集を試みるのには3日を要する。初日は早朝に福井を出ても鳩ヶ湯到着は正午近くになり、こゝで国鉄バスを降り、小池迄6Kmの谷間の道を採集しながら行けば夕方近くになる。小池は戸数10戸足らずの山間盆地の小村で、こゝの分取場に泊めてもらう。二日目は夜明けと共に出発しても、山頂を極め再びこゝに帰るのは夜9時頃になるだろう。昭和26年度は二回とも谷川にそつて登ったが岩壁に遮ぎられて頂上に達する事は出来なかった。昭和27度は尾根にそつて新しく出来た登山道路にそつて登ったが、途中で採集が思わぬ時間を消費し、又々頂上を極め得ず、前年度の谷川にそつて帰った。昭和28年度は前回迄の経験に鑑み、途中の採集をなるべく省略して山頂の植物を目標にした。全回は一応は頂上を極める事に成功したが、雨の為充分の探査を行えなかったのは残念である。

○鳩ヶ湯—小池

この當りは所謂山麓帯でトチノギ、フサザクラ、ミズナラ、カツラ、オニグルミ、サワグルミ、イタヤカエデ、ヨグソミネバリ等種々の樹木が茂り、時に優占種は目立たない。[ウスゲクマブギ、サワアザミ、ハクサンアザミ、オタカラコウ、メタカラコウ、ノッポログンクビソウ、ヤグルマソウ、モミジガサ、ハンゴンソウ、ゴマナ、クルマバヒヨドリバナ、ヤマハハコ、ヤブシソウ、ヤマボウシ、ヤマヨモギ、ソバナ、ツルニンジン、ミヤマニガ



ウリ、ムシカリ、ガマズミ、ミヤマガマズミ、ゴマギ、ソクズ、タニウツギ、
 ニワトコ、アカネ、キヌタソウ、ハシカグサ、イガホウズギ、ミゾホウズギ、
 クロバナヒキオコシ、アギギリ、テンニンソウ、アキチヨウジ、タツナミサウ、
 ヤマトウバナ、クルマバナ、イヌトウバナ、オオルリソウ、クサギ、イヌマ、
 アケボノソウ、エゾリンドウ、ハクウンボク、ムラサキヤシオツツジ、クマ
 ノミズギ、ミズギ、ヤマボウシ、ウシノミツバ、ウマノミツバ、ヒカゲミツ
 バ、ウド、コシアブラ、タニタデ、ミズタマソウ、ウリノギ、キブシ、オト
 ギリソウ、ミズオトギリ、サワオトギリ、トモエソウ、サルナシ、マタタビ、
 シナノギ、ノブドウ、エビズル、ヤマブドウ、ツリフネソウ、キツリフネ、
 ケケンボナシ、ミヤマハハソ、トチノギ、チドリノギ、イタヤガエデ、ウリ
 ガエデ、ウリハダガエデ、ハウチワガエデ、コハウチワガエデ、ヒナウチワ
 ガエデ、コマユミ、ドクウツギ、キハダ、バライチゴ、クマイチゴ、エビガ
 ライチゴ、マンサク、マルバマンサク、アカシヨウマ、クサアジサイ、サワ
 アジサイ、タマアジサイ、ダイモンジソウ、ノリウツギ、クサボタン、ヤマ
 オダマキ、オオバシヨウマ、ヤグルマソウ、クロモジ、ゲンコウバイ、ホホ
 ノギ、ミツバアケビ、サラシナシヨウマ、タケニグサ、クサギ、カツラ、フ
 サザクラ、オオヤマハコベ、イタドリ、オオミゾソバ、クニソバ、アカソ、
 イタクサ、ミヤマイタクサ、ムカゴイタクサ、アオミズ、ウバミソウ、オ
 ヒヨウ、ミズナラ、アカシデ、イヌシデ、クマシデ、オベルハンノキ、ヤマ
 ハンノキ、ヨグソミネバリ、サワシバ、オニグルミ、サワグルミ、オウバヤ
 ナギ、バツコヤナギ、オノエヤナギ、イスコリヤナギ、マタリシズカ、ウバ
 ユリ、シオデ、ヤマジノホトトギス、オオバギボウシ、タマガワホトトギス、
 ツクバネソウ、ニラ、ザゼンソウ、ムミノボロスゲ、オクノカンスゲ、マンネ
 ンスギ、ホソバトウゲシバ、ヤマハナワラビ、クサソテツ、ジュウモンジシ
 ダ、シノブカグマ、シラネワラビ、ヘビノネゴザ、キョウキシダ、ササゲイ
 ノデ、ノンマ、リヨウメンシダ、ミヤマシケシダ、カラクサイヌワラビ、ミ
 ゾシダ、ホテイシダ、シノブ、ミヤマベニシダ。]

① 小池一川込池

この當りも山麓帯で樹相は前者と殆ど変化が見られない。[ヤクシサウ、ヤ
 マヨモギ、ジシバリ、ニガナ、ハクサンアザミ、ノッポロガンクビサウ、ウ
 スゲタマブキ、フクオウソウ、ヒメドリバナ、チヨウジギク、ツルニンジン、
 ガマズミ、ミヤマガマズミ、ミヤマシグレ、ムシカリ、エゾノヨツバムグラ、
 クルマムグラ、カメバヒキオコシ、ニシギゴロモ、ジヤコウソウ、エゾシロ
 ネ、ミソガワソウ、タチカメバソウ、ツルリンドウ、ミヤマイボタ、スノギ
 ケスノギ、バイカツツジ、サイコクミツバツツジ、ウラジロヨウラク、ウス

ギヨウラク、ムラサキヤシオツツジ、ボツツジ、アクシバ、クマノミズキ、ミズキ、ヤマボウシ、セリバオウレン、ウド、ハリギリ、スミレサイシン、オトギリソウ、ミズオトギリ、マタタビ、ミヤママタタビ、サルナシ、ヤマブドウ、サンカクズル、アマズル、クマヤナギ、ホナグクマヤナギ、クロウメモドキ、クロツバラ、ミヤマハハソ、トチノキ、イタヤクエデ、コハウチワカエデ、ハウチワカエデ、アサノハカエデ、サワダツ、マユミ、コマユミ、ツリバナ、ヒロハツリバナ、ナツトウダイ、キハダ、ミヤマカタバミ、ニガキ、シモツケソウ、マンサク、マルバマンサク、アカシヨウマ、トリアシシヨウマ、クロクモソウ、クサアジサイ、サワアジサイ、タマアジサイ、ダイモンジソウ、ノリウツギ、ヤゲルマソウ、バイカウツギ、クロモジ、ダンコウバイ、ホホノキ、マツブサ、オオツツラフジ、ルイヨウボタン、サンカヨウ、サラシナシヨウマ、セリバオウレン、ハクサントリカブト、ニリンソウ、カツラ、フサザクラ、アオミズ、アカソ、イラクサ、ウワバミソウ、ムクゴイラクサ、ミヤマイラクサ、オヒヨウ、ミズナラ、オナノキ、クマシデ、サウシバ、ツノハシバミ、オニグルミ、サワグルミ、イヌコリヤナギ、ツクバネソウ、イトヒギスゲ、ミヤマシラスゲ、オオヌマハリネ、オシダ、サトメシダ、イヌガンソク、カラクサイヌワラビ、ミヤマベニシダ、シラネワラビ、クサソテツ、ヤマソテツ、ミヤマイトチシダ、ミヤマシケシダ、キヨタキシダ、ナライシダ。』

○谷川添いの道

両岸の山はブナ帯で喬木が鬱蒼として居るが、この谷間は水湿を好む草木や、谷川に添って降下しに思われる高山植物が見られる。[タイミンガサ、ウスゲタマブキ、オタカラユウ、メタカラユウ、オオカニコウモリ、マルバノリクラアザミ、オヤマボクチ、ヤハズトウヒレン、チヨウジギク、オオミヅホウズキ、クゲイソウ、ミソガワソウ、デンニンソウ、エゾシロネ、カメバヒキオコシ、タテヤマウツボグサ、タチカメバソウ、オオルリソウ、アマニユウ、ハナウド、ツクシキヨウカツ、オオカサモチ、ハクサンサイコ、トウキ、シヤク、ヒクゲミツバ、ウシノミツバ、ウマノミツバ、コシアブラ、トチバニンジン、ミヤマタニタデ、ミズタマソウ、アカバナ、コハウチワカエデ、コミネカエデ、ミネカエデ、サワダツ、ヒロハツリバナ、マユミ、ムラサキマユミ、ヒメモチ、ハクサントイゲキ、ダンナイフウロ、ハクサンフウロ、イワオウギ、ミヤマダイゴンソウ、カライトサウ、オニシモツケ、ノウゴイデゴ、ミヤマニガイチゴ、ウメバチソウ、クロクモソウ、ズダヤクシユ、クサアジサイ、ヤマガラシ、ワサビ、サンカヨウ、エンコウソウ、ハクサントリカブト、クサボタン、シナノキンバイ、ハクサンイチゲ、ミヤマカ

ラマツ、モミヂカラマツ、センジュガンピ、ハルトラノオ、イアキトラノオ、ミヤマスイバ、ミヤマイラクサ、ヤマミズ、ブナノキ、ダケカンバ、ヤハズ、ハンノキ、ヤマハンノキ、ヨグソミネバリ、ギソチドリ、ノビネチドリ、ハクサンチドリ、サイハイラン、ニヨホウチドリ、コケイラン、アオヤギソウ、オオバノトンボソウ、エンレイソウ、ギョウジヤニンニク、ツバメオモト、ユキザサ、マイズルソウ、タヌキラン、ヒゲノゲリヤス]

○登山路

下部はブナ帯で喬木が多く、登るにつれ喬木は依くダケカンバ帯となる。頂上近くでアオモリトドマツが見られる。[タイミンガサ、コウモリソウ、ノリクラアザミ、カニコウモリ、ヤマヨモギ、タニギキヨウ、ムシカリ、ミヤマシグレ、カメバヒキオコシ、ミソガワソウ、イケマ、タチサマバソウ、ミヤマイボタ、イボタノキ、ハクウンボク、サワフタギ、ツマトリソウ、シロシヤクナゲ、アカモノ、シロモノ、アクシバ、コヨウラグツツジ、ヲラタマノキ、レンゲツツジ、ミヤマニゲウリ、ニワトコ、コゼンクチバナ、ミズキ、ハリギリ、ハナウド、アマネウ、ハリゲキ、ミヤマタニタデ、カラスシギミ、ミヤマスミレ、イタヤサエデ、コハウチワカエデ、オグラバナ、ミネガエデ、コミネガエデ、クロズル、コマユミ、サワダツ、イヌツゲ、ソヨゴ、ツルツゲ、ヒメモチ、アカミノイタツゲ、エゾユズリハ、タカトウダイ、ツルシギミ、ミヤママタタビ、イワオウギ、ナナカマド、ウサネザクラ、ゴヨウイチゴ、ウメバチソウ、ミツバオウレン、ハクサントリカブト、ルイヨウボタン、サラシナシヨウマ、ブナノキ、クマシデ、ツノハシバミ、サワシバ、ミヤマハンノキ、ヤハズハンノキ、ダケカンバ、ヨグソミネバリ、オオバノトンボソウ、オウバギボウシ、オオバタケシマラン、オオバユキザサ、オウバオウセイ、ギヌガサソウ、タケシマラン、マイズルソウ、ゼンテイカ、イワノゲリヤス、ヒゲノゲリヤス、ヤマヌカボ、コバイケイソウ、バイケイサウ、ツクバネソウ、タガネソウ、アオモリトドマツ、イチイ、ミヤマシシゲシラ、ヘビノネゴザ、カラクサイノデ、ミヤマメシダ、シラネウラボ、ミヤマワラビ、マンマ、ミヤマベニシダ、オオヒメワラビ、オオミヤマイヌワラビ]

○頂上附近

所謂高山草本帯で、登山者により荒されていなお花畑は、赤、黄、緑等の花が咲き乱れ、その景観は實に見事である。[マルバダケブキ、メタガラコウ、ウスユキソウ、ヤハズトウヒレン、ヒトツバヨモギ、ミヤマアキノギリソウ、キオン、ヤマハハコ、ゴマナ、クロトウヒレン、ネバリオオノアザミ、マルバノリクラアザミ、ノリクラアザミ、タカネニゲナ、ミヤマオトコヨモギ、ミヤマコウゾリナ、マツムシソウ、ミヤマシヤジン、ハクサンオミナエ

シ、ホソバゴゴメグサ、エゾシホガマ、シオガマギク、トモエシオガマ、ヨ
ツバシオガマ、ワゲイソウ、タテヤマウツボグサ、ツマトリソウ、ユキワリ
ゴザクラ、イワカガミ、ガンゴウラン、ツガザクラ、コケモモ、クロマ^レノ
ギ、コヨウラフツヅジ、ヒメハナヒリノギ、シラタマノギ、ミヤマホツツジ
ゴゼンタチバナ、ミヤマウイキヨウ、イブキゼリ、チシマニンジン、トウキ、
アマネユウ、ハクサンサイコ、ホソバノイブキボウフウ、ミヤマアカバナ、
イワアカバナ、ヒメアカバナ、ミヤマスミレ、イチゲキスミレ、シナノオト
ギリ、ハクサントイゲキ、ゲンナイフウロ、ハクサンフウロ、イワオウギ、
ミヤマダイゴンソウ、オニユモツケ、シモツケソウ、クライトソウ、ベニバ
ナイチゴ、ゴヨウイチゴ、ナナカマド、チングルマ、トガスグリ、イワベン
ケイ、イワレンゲ、ムシトリスミレ、イワハタザオ、キバナノカワラマツバ、
ミヤマカラマツ、カラマツソウ、モミジカラマツ、ハクサンイチゲ、ヒメイ
チゲ、ミヤマキンポウゲ、タウネナデシコ、イブキトラノオ、ムカゴトラノ
オ、タカネスイバ、エンレイソウ、クルマエリ、コバイケイソウ、クロユリ、
ネバリノギラン、マイズルソウ、ササユリ、キヌガサソウ、アオヤギソウ、
オオバユキザサ、ハクサンチドリ、ノビネチドリ、ゼンテイカ、タカネシユ
ロソウ、タカネスズメノヒエ、コハリスゲ、ホスゲ、タテヤマスゲ、ヤマヌ
カボ、ヒゲノグリヤス、イワノグリヤス、チシマクニツリ、ハクサンイチゴ
ツナギ、カラフトドジョウツナギ、ヒロハコヌカグサ、ヤマヌカボ、ミヤマ
ドジョウツナギ、ナゲヒゲノグリヤス、アオモリトドマツ、ハイマ^レツ、ミヤ^レ
マネズ、ヒロハスギクズラ、ミヤマワラビ、ミヤマイヌワラビ、ヘビノネゴ
ザ】 (寒 罽 異 一 記)

新著紹介 福井縣産化石圖譜第五集

福井市理科研究会 福井市立郷土博物館

先に第一集(粘川産)第二集(下穴馬村産)第三集(南條郡宅良村芋平産)第四集(大
野郡北畠村杉産)を發行した福井縣化石圖譜は、大飯郡内浦村難波江及
び青柳村西三松のものをもとめて第五集を發行した。

中世代三疊紀に屬するもので二枚貝類及び腕足類の化石が圖版入
で説明されている。(アート紙圖版入)